

火は見てる あなたが離れる その時を

境港市消防 保安協会 会報



平成20年1月22日 渡町日御崎神社「文化財防火デー」演習

発行所

境港市消防保安協会

境港市中野町2116

境港消防署内

電話 47-0119

FAX 47-0031

印刷所 (有)共同印刷所

平成20年3月1日

第49号

火の用心

ごあいさつ

境港市消防保安協会

会長 渡辺明彦



年頭にあたり、会員企業各位、関係諸機関の皆様には、当協会の運営に対しまして日頃より格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は、能登半島地震、新潟県中越沖地震などの自然災害が発生し、甚大な被害や多くの方が犠牲になりましたが、幸いにも本市においては大きな自然災害がなく、比較的平穏な一年だったと思います。

境港市の災害概況によりますと、火災につきましては、総件数では過去五年間で最高の二十四件発生しましたが、建物火災は平成十八年と比較して十件減の八件でした。

その内、全焼火災は二件で損

害額も過去五年間で最低となりましたが、火災による死者が三名発生したことは、まことに残念なことでした。

このことから、火災の早期発見のため、退避のため、住宅用火災警報器の設置など住宅防火対策を更に推進していくことが急務であると考えます。

「災害は忘れた頃にやってくる。」と申します。当協会の使命として、危険物災害の未然防止に努めるのは当然ですが、「備えよ常に」の精神で地域社会に根ざした防災活動と安全意識の向上に取り組んでまいります。なにとぞよろしく一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のますますのご発展とご健勝を祈念申し上げます。私のあいさつといたします。



「救急」は今も昔も

「一一九番」



境港市で救急業務がスタートしたのは昭和三十九年四月、任意ではありませんが救急業務が創設されました。

当時、鳥取県日赤支部からジープ型自動車を利用しての救急業務開設でした。昭和四十四年五月には境港市で初めて救急病院が指定されました。

境港市上道町 菊川病院
境港市米川町 済生会病院
二つの病院が受入れることとなりました。

救急体制がまがりなりにも生まれ、市民の万が一の緊急事態に対応することとなり画期的な消防・救急体制のスタートでした。

境港市消防保安協会も民間企業の立場から祝意を表わしています。救



えんどう・りょうじ
昭和11年 境港市生まれ。
境港市民生部長、特別養護老人ホーム博愛苑苑長を経て、現在は、日吉津村教育委員会教育長。

「境港市救急業務のおいたち」

遠藤 量

急業務の開始は市民に大きな安らぎをもたらし、喜ばれました。

昭和三十八年、救急業務が消防法で定義づけられ、市町村に自治省消防庁が救急業務を義務化したしました。日本での救急体制の始まりでした。

文明も急ピッチに進展して都市化し、自動車時代へと移行しました。

自動車事故の激増と病氣も複雑になり、あわせて救急業務も拡大していきました。昭和四十五年一月、境港市は自治省消防庁から「救急自動車ニッサンB型」の寄贈を受けています。

救急体制における人的整備も随時増強されました。境港市で初めての救急対応職員の養成が始まり昭和四十六年五月から七月まで、池淵啓祐氏と寺本優治氏を研修に派遣しました。

当時、鳥取県に消防学校がなく松江市にある島根県消防学校初任科へ両氏が入校、三ヶ月三八〇時間を研修し、学科試験と実務試験をクリアー、初の「日赤救急員適任章」保持の職員が誕生しました。二年後、寺澤稔氏も資格取得され、今日の救急体制充実の基礎ができました。

救急業務開始の当時の出動回数を対比してみます。

昭和四十七年（開始当時）	四〇一件
昭和四十八年	四〇四件
平成十九年	一、二二三件

出動回数は三倍にも達しています。

現在は、一日平均三回以上出動していることになり

ます。

当時を振り返って救急員適任章を得たご三人は異口同音「救急車導入で、都市の仲間入りした実感であった。この救急体制の中で尊い命を救うことに参画した喜び、これに優るものはない。」と述べておられます。



現在境港消防署配属救急車

急病も救急業務の対象となったのは、昭和六十一年、平成四年五月には、国家試験合格者の「救急救命士」が誕生しました。

現在、境港消防署では、八名の救急救命士により、搬送中も救命処置が施され多くの尊い命が救われています。
(元境港市消防本部職員)

第28回 事業所対抗消火競技会

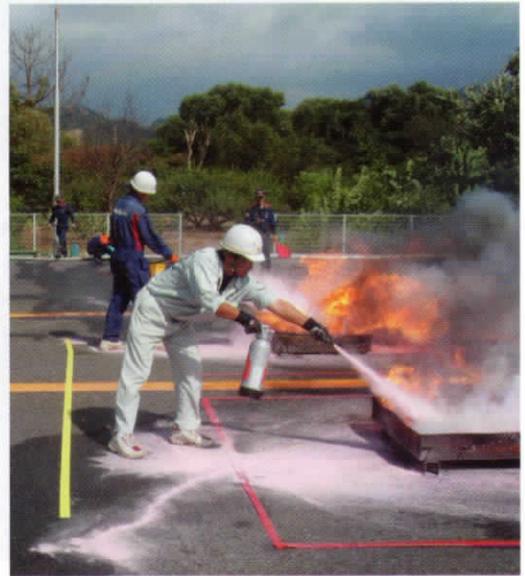
平成十九年九月二十八日(金)、境港消防署において当協会主催の消火競技会を開催しました。

会員事業所より、十五チーム(三十名)の沢山の参加をいただき、「天気、晴朗なれど風、強し」の中、消火器による油火災の迅速な消火、チームで連携をとって屋内消火栓のホースを延長し放水により、ペール缶の中のボールを外に飛び出させるという放水技術を競いました。

二十年度も九月ごろに開催を予定しておりますので、職員さんの研修の機会として、会員事業所からの多くの参加をお願いいたします。



大会長あいさつ



第一位

三光株式会社 昭和チーム

木下 賢一・金原 祐一



三光株式会社 昭和チーム

第二位

株式会社アクティ境港営業所 Aチーム

荻原 泰三・長崎 幹青

第三位

堀田石油株式会社

済生会境港総合病院

田中 仁志・平岡 佑介

小峰喜久男・山本 英二

平成十九年度表彰関係

鳥取県危険物安全大会

平成十九年鳥取県危険物安全大会が六月八日境港市の「境港市民会館」で行われ当協会関係者が表彰の栄に輝かれました。

*鳥取県知事表彰

(個人2、事業所1)

(危険物保安功労者)

。渡辺 明彦(有限会社 渡辺商店)

(危険物優良事業所)

。ユタカフーズ株式会社鳥取工場

(危険物優良取扱者)

。東西オイルターミナル株式会社境港油槽所

伊田 保正

*鳥取県危険物保安協会連合会長表彰

(事業所2)

。境港海陸運送株式会社

。東西オイルターミナル株式会社新境港油槽所

境港市消防保安協会総会

五月十七日総会の席上次の方々が受賞されました。

*境港市消防保安協会会長表彰(個人3、事業所4)

。岡田商店 寺沢 健治

。東西オイルターミナル株式会社新境港油槽所

所長 山本 宗樹

。ADEKAファインフーズ株式会社

。フジッコフーズ株式会社

。株式会社アクティ境港営業所

。株式会社ニヤクコーポレーション

。東西オイルターミナル株式会社境港油槽所

伊田 保正

平成十九年度
鳥取県危険物
安全大会



境港市長あいさつ

平成十九年六月八日に、境港市民会館大会議室において危険物の保安管理に対する意識の高揚と啓発をはかるため、境港市消防保安協会共催による鳥取県危険物安全大会が盛大に開催されました。

第一部の式典では、危険物保安功労者等の表彰がなされ、渡辺会長の『大会宣言』のもと参加者全員が危険物に対する保安意識を新たにし、安全を誓いました。



「記念講演」佐々木宏氏

第二部の記念講演は、地元境港市巾野町出身の松下電器産業(株)生産革新本部主任技師佐々木宏氏により、「製品の国際規格作りの苦労話」と題しご講演をいただきました。



渡辺会長「大会宣言」

試験情報

平成二十年度の消防試験研究センターが行う各試験の日程をお知らせします。

危険物取扱者試験にあつては、二年前から三回の実施となっておりますが、三回目は、乙種の実施ですので、ご注意ください。

*危険物取扱者試験

一回目(甲種、乙種、丙種)

試験日 平成二十年六月十五日(日)

願書受付期間 平成二十年四月十一日(金)

〓四月二十五日(金)

二回目(甲種、乙種、丙種)

試験日 平成二十年十月五日(日)

願書受付期間 平成二十年八月四日(月)〓八月十八日(月)

三回目(乙種のみ)

試験日 平成二十一年二月一日(日)

願書受付期間 平成二十年十一月二十一日(金)

〓十二月五日(金)

試験会場

一回目、二回目及び三回目とも
米子職業能力開発促進センター
米子コンベンションセンター

なお、危険物取扱者試験準備講習会については、一回目と二回目の試験にあわせて開催する予定にしております。

*消防設備士試験

試験日 平成二十年八月三日(日)

願書受付期間 平成二十年六月三日(火)〓六月十七日(火)

試験種別 甲種・乙種

試験会場 米子コンベンションセンター